

令和3年度 校内研究

～各教科で育成を目指す資質・能力を
踏まえた授業づくり～

概要提案

令和3年4月28日(水)職員提案

これまでの経緯

過去の本校研究

H 2 9 . 3 0 . 3 1

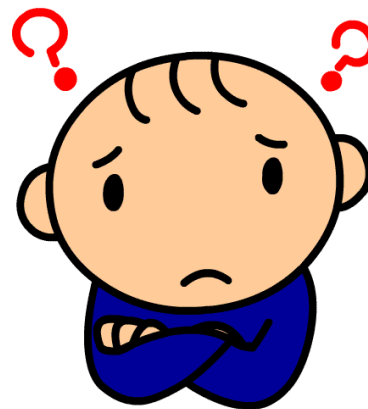
「主体的・対話的で深い学びを育む授業づくり」

授業づくり研究

校内研究(H31までの3年間)を終えて 課題

- ・ **各教科の目標設定** ・ 内容の設定 ・ 実態把握。
- ・ 目標を達成するための指導 ・ 支援の工夫。
- ・ 子どもの具体的な達成された姿の共有。

教科の指導難しいなあ。
(評価展望アンケートより)



4割の先生方



研究主題（R2・3 2年計画）

各教科で育成を目指す
資質・能力を踏まえた
授業づくり

1年目（R2）

小中：国語・算数／数学の資質・能力を確認。

国語：「伝え合う力」

算/数：「見通しをもち、筋道を立てて考える力」

高：高等部でつきたい力を確認。

国、数、英、社、情、芸

「社会」「言語活動」「問題解決」

自立活動？教科？

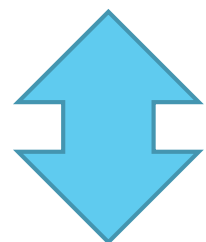
どこまで学習ができているか（習得状況の把握）

自分たちのしている授業について、
整理したり検討したりすることが
できた。

71%（評価展望アンケート）

2年目（R3）

授業（単元）づくり



子どもの**生活の中での変容**



2年計画の仮説

各教科で育成を目指す資質・能力
（＝何ができるようになるか）につながる
単元の目標を設定した授業を行うことで（方法）、
子どもが身に付けた力を生活の中で活用している
であろう。（結果）

研究方法

- ・ **月 1 回の研究日を基本とする。**
(年 1 2 回でできる授業研究を目指す)
- ・ **学部単位で行う。**
(学部として時間が必要があれば
学部研究として取り扱う。)
- ・ 年 2 回 外部講師より指導助言を受ける。
(筑波大学附属桐が丘特別支援学校長 下山直人先生)



2 年目校内研究 年間日程（案）

月	取り組み	研修 桐が丘特別支援学校長 下山直人先生
4	令和 3 年度取り組みについて研究推進委員会提案 概要を全職員周知 教科についてミニ研修（単元目標の設定の仕方等）	
5	R 3 教科の個別の指導計画（高は年計）（扱う教科のみ）を使い、 授業公開①に向けてグループで単元づくり	
6	授業公開①に向けてグループで単元づくり	
7	授業公開①	7/13(火) 授業公開と講義
8	授業公開①のふりかえり 教科の個別の指導計画（扱う教科のみ）作成・評価、 加筆修正等	教務部と連携
9	授業公開②に向けてグループで単元づくり	
1 0	授業公開②に向けてグループで単元づくり	
1 1	授業公開②に向けてグループで単元づくり	
1 2	授業公開②	12/6（月）授業公開、指導助言と講義
1	授業公開②のふりかえり 教科の個別の指導計画（扱う教科のみ）作成・評価、 加筆修正 今年度のまとめ	
2	次年度の教科の個別の指導計画作成	
3	来年度の取り組みについて 全職員周知	

変容を捉える。
（個別の指導計画に反映）

変容を捉える。
（個別の指導計画に反映）



幼・小学部

現状と課題

- 国語・算数の資質・能力を確認した。
- 知的教科の単元づくりが5つできた。
- 教科の個別の指導計画を立て、実施してみた。

R 2 △ 1つの単元で各教科の内容をたくさん挙げていたが、
生活の変容を捉えた評価は、内容が絞られていた。

**現在 R 2に検討した「何ができるようになるか」を見据えた内容を
出発点に、R 3教科の個別の指導計画を作成中。**

学習指導要領に
定められた内容

(参考) 内容とは

(例) 音楽科小1段階 目標

(4) 1段階の目標と内容

ア 目標

○1段階

(1) 目標

ア 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。

イ 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。

ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

今回の改訂では、ア「知識及び技能」の習得、イ「思考・判断・問題解決」の育成、ウ「関心・関与・態度」の育成の観点から、

(例) 音楽科小1段階 内容

イ 内容

(2) 内容

A 表現

ア 音楽遊びの活動を指導する。

(ア) 音や音楽遊びを通して、音や音楽を聴く。

(イ) 表現する音や音楽。

(ウ) 思いに合った表現を身に付けること。

① 音や音楽を聴く。

② 音や音楽を表現する。

③ 音や音楽を楽しむ。

思考や判断や表現や

知識・技能

ここでは、1段階における「音楽遊び」とは、発達段階に応じた器楽、音楽づくり、身体表現など重要な活動である。音や楽器の音に興味を示して触れたり、じっと動きを止めたり、

具体策

重点化した内容を基に、子どもが単元の中、生活の中で
「何ができるようになるか」を具体的に考える。

- ①国語・算数で単元づくり。
- ②7月と12月の授業公開に向けて、グループで検討。
(対象児童に関わる教員で編成する。)
- ③教科の個別の指導計画(国語・算数)を活用。
- ④桐が丘の研究を参考。
- ⑤L字型構造で可視化。
(学部研修と連動)

金曜日の6限にする予定です。

中学部

現状と課題

- 国語・数学の資質・能力を確認した。
- 知的教科の5つの単元づくりができた。
- 教科の個別の指導計画を作成した。
- 生徒一人ひとりの何段階などの実態把握ができている。

△現時点での教科の個別の指導計画では
「何ができるようになる」のか、具体的でない。

教科の目標

- (知識・技能)

(小1段階) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。
- (思考力・判断力・表現力)

(小1段階) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。
- (学びに向かう力・人間性)

(小1段階) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

個別の配慮事項

-
-

教科別			日常生活の指導			生活単元学習	
月	目標	段階と内容	目標・学習内容	段階と内容	時数	目標・学習内容	段階と内容
4						言葉がその人を表していることを感じる。	<国語>小1ア(ア)
5							
6							
7						持つ音やリズム、表す事物やイメージを表現することができる。	<国語>小1ア(イ)

国語 知識・技能の目標

「日常生活に身近な言葉が分かり使うようになるとともに・・・」



日常生活に必要な身近な言葉って何？使うってどういうこと？

具体策

教科の中、単元の中で**何ができるようになるのか具体的に**考え、生活の中での姿とつなげた授業をする。（仮説）



学習したことが生活の中で結びつく。（結果）

研究の方法

- ①国語、数学の個別の指導計画の目標を、生活に結びつけた姿をイメージして具体的に考える。
 - 実態から
 - 個別の教育支援計画をもとに、将来こうなってほしいから
 - ②目標を意識した授業を行い、評価もする。何ができたら目標が達成したと言えるのか、どの場面で評価するのも決めておく。
- ①②を見える化するためのシートを作成し、検討・評価するために活用する。

高等部

現状と課題

- R 2 は高校の新旧学習指導要領を読み比べ、各教科の見方・考え方を探った。
- 各教科でつきたい力を 3 つのキーワード（「社会」「言語活動」「問題解決」）で整理した。
- キーワードを切り口に授業改善／授業づくりに取り組んだ。

※生徒が学んだ内容をどのように考えるのか、どのように表現するのか等、学んだことを生活の中で、使ったり活用したりする生徒の姿をイメージし、生徒の変容を目指して授業づくりを行っていく必要がある。

現在 生単、教科別の国語・数学（Ⅰ・Ⅱ型）、国・数・自活（Ⅲ型）の年間指導計画の原案を検討している。

具体策

【単一】

- ・ 各教科における単元目標、内容はすでに設定されている。
- ・ 生活に生かすとは生徒が学んだことを思考・判断・表現できること。

◎ 生徒が思考、判断、表現している姿を検討し授業づくりを行う。

○任意の教科での授業づくり

- ・ 生徒の現状を把握する。（どのように思考しているのか、思考しているのはどのような状況なのか、どうすれば思考が深まるのか・・・等）
- ・ 現状をもとに授業で学んだことを思考、判断、表現している具体的な生徒の姿を目標として検討する。
- ・ 目標とする姿が見られるために、単元における授業の構成（場面設定）、教材、発問等多角的に検討し授業づくりを行う。
- ・ 検討した思考、判断、表現している姿が見られたか（生徒の変容がみられたか）、生徒の授業評価や職員間での評価を行う。

具体策

【重複】

◎「高3年間でつきたい力」の視点で先を見通しながら内容を検討し、目標設定を行う。

○国語・数学での単元づくり（授業づくり）

- ・生徒が何を習得しているかを把握する。
- ・次に何を学ばよいか、生活に生かすためには等先を見通しながら「高3年間でつきたい力」の視点での内容を検討し、単元目標を設定する。
- ・検討した内容と単元目標をもとに、教材の選定等単元づくりを行う。
- ・「つきたい力が身についているか」＝「生徒の変容が見られたか」を生徒の授業評価や職員間での評価を行う。